

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

こたえる、化学。社訓『品質第一、原価逋減、研究努力』を礎に、産業を通じて国家・社会に貢献する

PBR
1倍以上

② 中長期の経営戦略

1. セグメント再編成

材料別6セグメントから分野別4セグメント（電子・情報、環境・エネルギー、ライフ・ウェルネス、コア・マテリアル）に変更。各分野特性に即した戦略立案と経営資源の効率的管理を実現

3. 研究開発体制強化

生産技術研究所と京都中央研究所を経営直轄組織に設置。短期・中長期テーマを区分し開発期間短縮で事業効率と競争力向上を図る

2. 事業本部制導入

営業部門と研究部門を一体化した分野別事業部を設置。顧客課題への迅速対応と新規開発への取り組みを可能化。事業責任明確化で機動的運営を推進

4. 人事制度改革

新人事制度導入で成果を正当評価。社員一人ひとりの成長が企業成長に直結する仕組みを整備。チャレンジする社員を賞賛する企業風土醸成

③ 対処すべき課題

① 研究開発・事業体制強化

- ・ 事業本部制導入で顧客ニーズへの迅速対応を実現
- ・ 注力4分野での技術革新を推進
- ・ 開発期間短縮で競争力向上

② 人財活用と企業文化変革

- ・ 成果主義的人事制度で労働生産性向上
- ・ チャレンジする風土醸成
- ・ 健康経営銘柄に連続選定される人的資本強化

③ ライフサイエンス黒字化

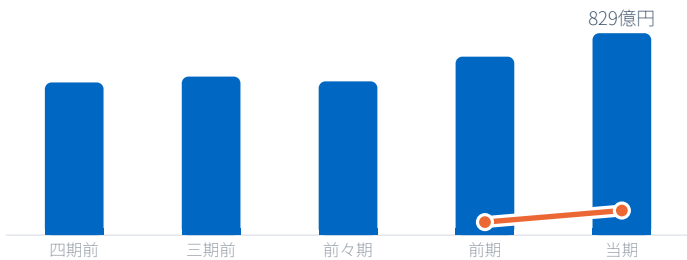
- ・ 冬虫夏草など機能性表示食品の拡販
- ・ 脱臭・消臭技術の応用展開
- ・ 医薬品GMPなど受託事業強化

面接で使えるポイント

- ・ 創業精神『品質第一、原価逋減、研究努力』を経営規範とし、2025年から『SMART 2030』中期経営計画で電子・情報な…
- ・ 事業本部制導入で営業と研究を一体化、生産技術研究所と京都中央研究所で開発期間短縮を実現
- ・ 健康経営銘柄に連続選定される人事制度改革と、ライフサイエンス事業の早期黒字化で企業価値向上を目指す

証券コード 4461

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
829億円営業利益率
12.2%財務健康度
41点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 57.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
805万円

化学内 48位/204社

平均年齢
41.4歳

化学内 124位/204社

平均勤続
15.6年

化学内 115位/204社

女性管理職
9.7%

化学内 54位/173社

男性育休
73.3%

化学内 104位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 第一工業製薬 大湊工場のすべての電力を再生可能エネルギーにて

要するに
第一工業製薬株式会社 事業要約

…

主力事業・セグメント

- 化学（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- 営業利益率12.2%の安定した収益性
- 将来性評価は晴れ
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

